

様式 1

令和6年度エネルギー管理優良工場等表彰推薦調書

九州地方電力利用効率化協議会

ふりがな 工場等の名称		かぶしきがいしゃ こうじょう 〇〇株式会社 □□工場		エネルギー管理指定工場にあつては指定番号 第一種 (1 2 3 4 5 6 7)				
所在地		(〒8XX-00XX) 福岡市●区●●955番地		TEL 092(XXX)XXXX				
代表者役職・氏名		取締役工場長 節電 太郎		担当部署名・ 担当者氏名		施設管理課 省エネ 次郎		
企業 概要	資本金	500 百万円		業 種		電気機械器具製造業		
	従業員数	1,500 名		主要製品等の名称		システムLSI		
工場 等 概 要	工場従業員数	500 名		エネルギー関係者数		7 名		
	エネルギー管理士数	5 名		指定工場にあつて は管理 者数 又は管理員数		2 名		
	年間エネルギー使用量(原油換算)			30,000 kℓ				
	内 訳							
	燃料等の種類			年間使用量				
				燃料等の使用量		原油換算使用量		
	A重油			1,600 kℓ t 千m ³ kJ		1,614 kℓ		
	契約電力	20,000 kW		年間電力使用量		11,035 万kWh		
	受電電圧	66,000 V		自家発電設備		0 W		
	年間電力使用量(自家発電部分を除く。)			11,035 万kWh (原油換算 11,035 kℓ)				
受賞暦	環境システム国際規格ISO-14001認証取得			H13年10月				
原 単 位 等	[4ヵ年の原単位と前年比3年を記載]		単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
	工場エネルギー消費原単位 ※ 局定期報告の値を記入 ※ 改正前の省エネ法に基づく値は上段()内 に、改正後に基づく値は下段に記載する (2023年度は上記両方の数値を記載する)		kℓ/円	(0.35)	(0.33)	(0.30)	(0.28)	
	対前年度比			%	—	—	—	0.26
	電気の需要最適化に資する 措置(DR)の実施日数		日	—	94.3	90.9	93.3	
特記事項等(原単位悪化の場合はその理由を記載)								

I. エネルギー管理体制、技術者の育成

項目	内容	評価（該当項目に○）	内容（左記について具体的な内容を記入）
管理体制	常設の省エネ推進組織がありますか	1 専門組織有り 2 併用組織有り 3 組織なし	(管理組織名があれば組織名を記載。省エネ単体でなくても論議する場があればその会議の名称を記載)
	経営層の関与は	1 経営層が参加 2 報告のみ 3 関与無し	(エネルギー利用効率化に関して、責任者の関与方法について記載) 例：会議に必ず出席、議事録の回覧、原単位・改善状況の定期的報告 等
開催状況	開催頻度は	1 定期的に開催 2 必要に応じ開催	(定期的開催の場合はその頻度、非定期的場合は過去3年の開催実績を記載)
具体的検討内容	原単位目標の設定	1 主要設備毎 2 事業場全体 3 目標設定なし	(省エネに関して会議の中で具体的に論議する内容を記載) 例：年度当初に原単位目標を設定。以降毎月原単位の実績、対前月・前年比較、原単位悪化の場合の要因分析、その他省エネに関する周知内容の確認を実施 等
	原単位の改善その他	1 検討・対策実施 2 検討のみ 3 検討していない	
決定事項の周知方法	省エネ委員会等で決定した事項の所員への周知方法	1 定期的に周知 2 資料の掲示・回覧 3 具体的方法なし	(決定事項を所員に周知する方法を記載) 例：課内会議（1回/月）で責任者が報告。 打合せ資料の課内回覧、共通掲示板への掲示 等
資料の整備方法	省エネに関わるデータ、委員会議事録等の整備方法	1 体系的に整理し管理部門が一貫して管理 2 資料を部門ごとにファイリング 3 整理していない	(資料の整備方法を記載) 例：電子データ、紙媒体等で体系的に整理して管理部門が責任を持って管理。 各部門で資料を管理 等
その他組織運営上の特記事項		(組織運営、エネルギー管理体制等で特に工夫している事項、特記事項等があれば記載)	
教育訓練	教育・研修	1 試験受講、研修参加 2 管理員講習に参加 3 教育研修等参加なし	(1は管理士試験、講習実績、2は管理員講習実績。過去3年間の年度ごとの参加実績人数を記載) (例) ・試験受験：○年：○名、 ・管理士講習受講：○年：○名
	社外講習会・発表会	1 毎年参加 2 都度参加 3 参加していない	(省エネ優秀事例発表会、エネルギーシンポジウム、環境セミナー等社外講習会等の過去3年の年度ごとの実績を記入)
	社内研修	1 毎年定期的実施 2 都度実施 3 実施していない	(社内研修として取組んでいる内容を具体的に記載) ・1回/月、テーマを決め省エネ設備の勉強会を実施。1回/年省エネに関する法令等の勉強会を実施 等

Ⅱ エネルギーの使用の合理化に関して取組んでいる事例

過去3年間について、省エネ取組み事例で主要なものを5項目以内で簡単に記載する。

年度	テーマ	改善の概要 (改善効果[原油換算削減値など])をできるだけ具体的に記載)
2021	ボイラー蒸気圧適正化	<p>負荷側の必要条件に合せたボイラー設定値の見直しを実施することにより燃料使用量の削減を実施</p> <p>制御設定0.55～0.65MPa 変更後 0.52～0.62Mpa</p> <p>A重油削減：86kℓ/年 【原油換算▲87kℓ/年】</p>
2022	電力管理適正化	<p>従来の手入力による電力集計を、自動計測による課別・設備別の電力集計するシステムを構築。</p> <p>これにより、集計精度アップを図り、コンプレッサー運転の適正化、力率アップの最適なコンデンサ容量選択等が出来るようになった。</p> <p>電力量削減：16MWh/年 【原油換算▲4kℓ/年】</p>
2022	特高受電設備更新	<p>特高変電所受電設備更新を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特高受電設備をキュービクル型C-GIS設備に更新 (▲0MWh/年【▲0kℓ/年】) ・変圧器(4台)を高効率に更新 (▲0MWh/年【▲0kℓ/年】) ・リアクトルコンデンサ4台更新及び自動力率調整器導入 (▲0MWh/年【▲0kℓ/年】) <p>電力量削減：10MWh/年 【原油換算▲3kℓ/年】</p>
2023	空気圧縮機省エネ改善	<p>コンプレッサー4台並列運転をインバータコンプレッサへの取替え及び台数制御にシステム変更し、負荷の変動に応じて自動調整するようにした。</p> <p>電力量削減 358MWh/年 【原油換算▲86kℓ/年】</p>
2021 ～ 2023	照明のLED化	<p>包装工程を対象として、高効率のLEDへ更新(○○個)するとともに、ライン毎の器具配列を見直した。</p> <p>また、高所に取り付けられていた器具の高さを見直し、照明器具容量及び器具数を削減(▲○○個)した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度：○個 (▲0MWh/年【▲0kℓ/年】) ・2022年度：○個 (▲0MWh/年【▲0kℓ/年】) ・2023年度：○個 (▲0MWh/年【▲0kℓ/年】) <p>電力量削減：21MWh/年 【原油換算▲5kℓ/年】</p>

